

[インデックスに戻る](#)

13. 平面ベクトル

13-1. ベクトルの定義と演算

13-1-4. ベクトルの内積

13-1-4-1. 内積の定義

$\vec{0}$ でない2つのベクトル \vec{a} 、 \vec{b} に対して、3点 O、A、B を

$$\overrightarrow{OA} = \vec{a}, \overrightarrow{OB} = \vec{b}$$

を満たすようにとるとき、 $\angle AOB$ の大きさ θ を \vec{a} と \vec{b} のなす角という。さらに、 $|\vec{a}||\vec{b}|\cos\theta$

を \vec{a} と \vec{b} の内積といい、記号で $\vec{a} \cdot \vec{b}$ と表す。

内積の定義

\vec{a} と \vec{b} のなす角を θ とするとき、

$$\vec{a} \cdot \vec{b} = |\vec{a}||\vec{b}|\cos\theta$$

(注)

\vec{a} 、 \vec{b} の少なくとも一方が $\vec{0}$ のとき、 \vec{a} と \vec{b} のなす角は考えない。また、そのときの内積は

$$\vec{a} \cdot \vec{b} = 0$$

とする。

(注)

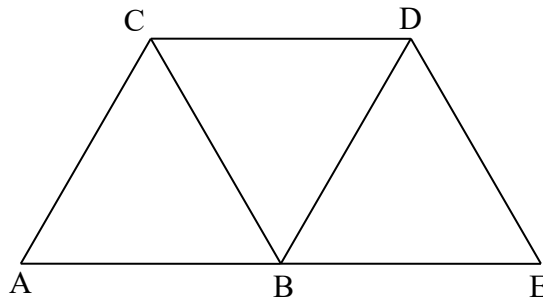
 \vec{a} と \vec{b} が平行で同じ向きするときのなす角 θ は $\theta = 0^\circ$ であり

$$\vec{a} \cdot \vec{b} = |\vec{a}| |\vec{b}|$$

 \vec{a} と \vec{b} が平行で逆向きするときのなす角 θ は $\theta = 180^\circ$ であり

$$\vec{a} \cdot \vec{b} = -|\vec{a}| |\vec{b}|$$

(例)



上の図で、三角形 ABC、三角形 BCD、三角形 BDE はすべて、一辺の長さが 2 の正三角形であるとする。このとき、

$$\overrightarrow{AE} \cdot \overrightarrow{AC} = 4 \times 2 \times \cos 60^\circ = 4 \times 2 \times \frac{1}{2} = 4$$

$$\overrightarrow{BC} \cdot \overrightarrow{BE} = 2 \times 2 \times \cos 120^\circ = 2 \times 2 \times \left(-\frac{1}{2}\right) = -2$$

$$\overrightarrow{DC} \cdot \overrightarrow{CA} = \overrightarrow{DC} \cdot \overrightarrow{DB} = 2 \times 2 \times \cos 60^\circ = 2 \times 2 \times \frac{1}{2} = 2$$

[インデックスに戻る](#)